

(株)カインズとの共同開発による水切り袋が発売されました。

家庭から出される「可燃ごみ」の中にはたくさんの「生ごみ」が含まれており、その重量の多くが水分といわれています。そのまま排出すると、多量の水分までもごみとして処理していることになり、ごみや運搬費用の増加、焼却効率の悪化につながります。

そこで、本庄市の廃棄物減量化を図るため、家庭用品の開発、製造、販売に数多くの実績を有している市内企業の(株)カインズと協定を締結し、官民協働で新しい生ごみ水切り袋を開発しました。令和元年11月30日(土)から、全国のカインズ(一部の店舗を除く)及びオンラインショップにて販売中です。価格は、1セット248円(税込)。



【特徴】

- ・使い方が簡単でわかりやすい
- ・両側のマチが広く引っ張りやすい
- ・スリムなのに自立しやすい
- ・通常の水切り袋よりも水切れがよい

水切りは、生ごみに触れるためどうしても敬遠されがちなものです。しかし、新しく開発された水切り袋ではその点も改善されており、ご家庭で手軽に取り組んでいただけるという特徴があります。

今後、環境推進課では、生ごみ水切り袋を小分けにした啓発品を作成し、公民館での料理教室に参加された方や本庄市に転入された方へ配布することで、ごみの減量に対する意識を高めていきたいと考えています。

【周知の状況】

市長定例記者会見(11月)、広報ほんじょう12/1号、市ホームページ、その他新聞記事等